

親子3世代で培ってきた高い輸送品質 「創業100年」を目指して精励を重ねる

茂原市に本社を構える(有)原田運送（原田佑介代表取締役）は、原田佑介社長の祖父によって昭和34年に設立された運送会社である。創業社長である原田社長の祖父、2代目社長として会社の発展のために長年尽力してきた父親、そして現社長である原田社長と、親子3代にわたって事業を継続し、同社は高い安全性と取引先からの厚い信頼を築き上げてきた。同社では、「創業100年」をよりよい形で迎えるために、原田社長を先頭に、今後も様々な取り組みにより一層磨きをかけていく。



トリコロールカラーが目を引く同社の平ボデー車の前に立つ原田社長

■「お預かりした荷物をそのままの形で」 指導を徹底して事故防止対策に力を注ぐ

(有)原田運送は、設立当初は鮮魚輸送のほか、ダンプトラックによる土砂輸送を手がけていたほか、かつてはパック牛乳を輸送していたこともあった。現在は、関東一円とその周辺への、農業資材や化学製品、雑貨、建材などの輸送を手がけている。

さて、同社では平成20年に初めて安全性優良事業所（Gマーク事業所）認定を取得以来、継続してGマーク認定を受けており、直近では5回目更新でのGマーク認定を受けている。全国貨物自動車運送適正化事業実施機関である全日本トラック協会では、令和5年度から6回目更新を迎える事業所を、20か年もの長きにわたる安全運行の実績を積み上げてきた「長期認定取得事業所」として認定。これまでに積み上げてきた安全運行の実績に敬意を表すために、長期認定取得事業所に対しては通常の認定ステッカーではなく、ゴールドステッカーを与えている。同社では、次回更新が6回目更新にあたるため、次回無事にGマーク事業所として認定されると長期認定取得事業所となる。

「Gマークを取得しなければ自社の信用にかかわるのではないかと考え、Gマーク制度開始直後の比較的早い段階でGマーク取得に踏み切りました。当地ではゴールドステッカーを付けて走っているトラックはまだ多くなく、もしゴールドGマークを獲得できれば、当社のドライバーも誇りに感じるのではないかと思います」（原田社長）

同社における事故防止対策としては、環境に優しく、燃料節約に繋がり、事故リスク軽減も期待できる「エコドライブ」の励行が挙げられる。同社のトラックにはアナログタコグラフが搭載されており、運行後には運行管理者がチャート紙をもとに速度やエンジン回転数を確認し、ドライバーに対してエコドライブの徹底を呼びかけている。また、ドライブレコーダーは全車両に搭載しており、軽微な事故などがあった際にはドラレコで取得した映像をドライバー全員で確認し、同じような事故の発生を未然に防ぐ

ようにしている。さらに、毎月1回ドライバーを対象とした安全教育を実施し、ドライバーの事故防止意識を高めている。

「当社では、『お客様からお預かりした荷物をそのままの形で』をモットーに、全ての荷物をしっかりと丁寧に運ぶようドライバーに指導しています。特に、入社したばかりのドライバーや荷物事故を起こしてしまったドライバーに対しては指導を徹底し、高品質な輸送サービスの提供に努めています」（同）

また、同社ではドライバーの拘束時間削減への取り組みも積極的に進めている。かつて同社と取引のあった取引先の中には、荷積み待ち・荷卸し待ちが長いところもあり、1月あたりの時間外労働が100時間を超えることも珍しくなかったという。しかし、同社では令和6年4月からのドライバーへの時間外労働上限規制適用を前に、この取引先の仕事から撤退するなど、ドライバーの時間外労働削減に向けて取り組みを進めてきた。それとともに、休日数増にも取り組んでおり、現在では日曜・祝日を休日としているほか、土曜についても隔週で休日としている。また、有給休暇の取得促進にも取り組んでおり、土・日の休みと合わせて有給休暇を取得してもらい、3連休にすることも可能である。

さらに、同社ではドライバーの待遇改善を図るために荷主との運賃・料金交渉にも取り組んでおり、適正運賃・料金を収受できないような仕事からは撤退するなどの対応を凶ってきた。

「『物流の2024年問題』を契機として、お客様の間にも持続可能な物流のあり方について徐々に認識が深まりつつあるように感じますが、将来にわたって物流を持続可能にしていくためには、お客様から適正運賃・料金を収受し、それを原資としてド



原田 佑介
代表取締役



同社では農業資材や化学製品、雑貨、建材などの輸送を手がけている



原田社長は現在でも、時折大型トラックに乗務して輸送にあたっている



夏にはドライバーにスポーツドリンクを1ケース贈呈し、熱中症予防を呼びかける

ライバーの待遇改善を進めていく必要があります。当社としては、運賃・料金交渉に応じていただき、適正運賃・料金が收受できるお客様との取引を増やしていくことで、当社の持続可能性を高めていきたいと考えています」(同)

さて、同社にはドライバーが7人在籍しているが、在籍年数の長い人が多く、なかには30年以上同社で仕事してきたドライバーもいるなど、「同社の居心地の良さ」が特徴となっている。同社では従業員満足度向上への取り組みとして、毎年年末になると餅代とともに寿司桶入りの寿司をドライバーに手渡すようにしている。寿司はドライバー本人だけでなく家族で楽しめるほどの量となっており、ドライバーの家族からは毎年好評だという。

一方で、同社のドライバーの平均年齢は50歳を超えており、日々の体調管理の徹底が求められる。同社では、千葉県トラック健康保険組合が実施している「インフルエンザ予防接種補助」を活用して、ドライバーだけではなくその家族に対してインフルエンザ予防接種を受けさせているほか、暑さ厳しい夏になるとドライバーにスポーツドリンクを1ケース進呈するなど、熱中症予防を呼びかけている。

さて、原田社長は同社の3代目社長にあたるが、原田社長は高校生の頃から、将来会社の経営を引き継ぐことを考えていたという。大学中退後、もともと自動車が好きだったということもあって、4年間ほどガソリンスタンドで勤務した後、平成17年に同社に入社。入社当初は4トン車に乗務していたが、大型自動車運転免許を取得してからは大型トラックに乗務し、今でも大型トラックに乗務しているという。令和元年、先代社長が65歳を迎えたこと、また病気を患っていたこともあり、36歳で原田社長が3代目社長に就任。その前年から、先代社長が周辺に対し、事あるごとに「来年からは息子が社長の座を引き継ぐ」と話していたこともあり、原田社長は社長となる決意を固めていたという。

原田社長が社長に就任してから6年が経過したが、同社のドライバー達とは良好な関係を築けているという。原田社長が同社に

入社してから20年ほどが経っており、長年一緒に仕事をしてきた同社の従業員のことは「みんな仲間同士に感じています」(同)という。一方で、原田社長が社長に就任した頃から、同社が所属している長夷支部の青年部会の活動が徐々に活発化してきたこともあり、原田社長も長夷支部の青年部会の活動に積極的に参加している。また、地元商工会議所青年部の活動にも参画しているという。

「長夷支部青年部会の活動をはじめ、同年代の仲間との交流はいい刺激になるため、今後も積極的に参加していきたいと考えています」(同)

原田社長に「経営を行う上で大事にしていること」を尋ねたところ、「お客様や当社のドライバーへの感謝の気持ちが何よりも大事です」と答えた。

「これまで当社と取引があったあるお客様が倒産してしまった時、『このままでは当社の経営が厳しくなってしまう』と非常に危惧しました。しかし、その後、そのお客様に業務を委託していた委託元のお客様から、当社に対して直接お仕事をいただけるようになりました。当社の仕事ぶりが委託元のお客様に評価されたことで、取引開始に繋がったのです。当社の仕事ぶりを見ていただけていたことに、深い感謝の念を感じました。また、毎日朝早く起きて仕事を頑張ってくれている当社のドライバーがいなければ、当社の経営を継続していくことができなくなります。今後も引き続き、お客様や当社のドライバーへの感謝の気持ちを決して忘れることなく、事業に励んでいきたいと考えています」(同)

会社設立以来、今年で67年目を迎えた同社。現在42歳である原田社長は、30年後にやってくる「創業100年」を、同社の経営を将来引き継ぐであろう原田社長の子供達と一緒に迎えたいと話す。「それを実現させるためには、自分の子供もたちにとって魅力ある業界にしていけることが、何よりも大事だと考えています」と、原田社長は思いを込めた。

ホットにゆーす

■たくさんのメダカや観葉植物を自宅で育成 何よりも代えがたい「成長の喜び」

原田社長は、自宅で数百匹のメダカを飼っているほか、観葉植物であるアガベを百鉢ほど育てている。

メダカを飼い始めたのはここ1、2年ほど前からで、現在も飼育数をどんどん増やしているという。また、アガベは種から育てているという。

「もともとメダカなどの生物やアガベなどの植物を増やしていくことが好きで、メダカの場合は水槽の水を替えたりエサをあげたり、またアガベも虫が付きやすいため薬剤をまいたり手ががかかりますが、それだけに育て上げた時には、これまでの苦労が大きな喜びに代わります」(同)



自宅の水槽にいるたくさんのメダカにエサを与える原田社長。その後ろには、観葉植物アガベも見える

企業プロフィール

有限会社原田運送

代表取締役 原田 佑介

所在地 千葉県茂原市木崎 272

従業員 10人 (うちドライバー7人)

台数 9台